

Classic

Hiroshima Symphony Orchestra
with Gen Ohta
and Rika Masato

第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉にて第2位ならびに聴衆賞を受賞した太田弦。

広島市出身、17歳でパガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第3位を受賞したヴァイオリニスト正戸里佳。若き才能の躍動感あふれる競演を広島交響楽団のハーモニーとともににお届けします。
どうぞご期待ください！



太田 弦(指揮)

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。

東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリ

アル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。

2015年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で2位ならびに聴衆賞を受賞。

指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、バーヴォ・ヤルヴィ、ダグラス・ボストック、ペーター・チャバ、ヨルト・ナジ、ラスロ・ティハニの各氏のレッスンを受講する。

これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。

2019年4月より大阪交響楽団の正指揮者に就任。



Gen Ohta (Conductor)

正戸 里佳(ヴァイオリン)



Rika Masato (Violin)

広島市出身。10歳でルーマニア・モルドバ・フィルと共演。06年17歳でパガニーニ国際コンクール第3位。16年ドミニク・ベカット国際コンクール第1位。桐朋学園女子高等学校を首席卒業後、同大学ソリスト・ディプロマ特待生を経て渡仏。パリ国立高等音楽院修士課程を首席卒業後、最高課程を修了。ザルツブルク・モーツアルテウム音楽大学修士課程を修了し、パリを拠点に国際的に活動中。バンク・ポピュレール財団アーティスト。2018年には、デビューCD『パリのヴァイオリン・ソナタ集』(キングレコード/レコード芸術準特選盤)をリリース。JAL国際線機内オーディオや、ゴッホ展(上野の森美術館と兵庫県立美術館で開催)の音声ガイドにも使用された。また、2019年に「ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ全10曲 3回シリーズ」(共演:岡田将)を完遂し、大好評を得た。今後ますますの活動が期待されている。

オフィシャルHP <https://rikamasato.com/>

オフィシャルFacebook <https://www.facebook.com/rika.masato.violin/>

広島交響楽団



国際平和文化都市“広島”を本拠地とし、中国地方を代表するプロオーケストラ広響は、下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」「ENEOS音楽賞」を受賞。



Hiroshima Symphony Orchestra

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>

本公演は、新型コロナウイルス感染予防、および拡大防止の対策を講じて開催いたします

主催者の取り組み

- 会場内の消毒、換気を定期的に実施いたします
- 入場時、お客様に検温とアルコール消毒を実施いたします

お客様へのお願い

- 37.5度以上の発熱や風邪の症状、味覚・嗅覚障害等、体調不良のお客様はご来場をお控えください
- 会場内ではマスクをご着用の上、咳エチケットにご協力ください
- 入退場時などは混雑を避けるため、スタッフの指示に従いご移動ください

最新の情報は、
民音公式サイト
をご確認ください

